

園芸 | 実需者への直接販売を拡大、計画上回る 中外食向けのサプライヤーと業務提携も

取り組み目標

- 実需者への直接販売の拡大
 - 2017年度3200億円を計画
- 実需者・卸売市場との連携強化
- 直販拡大へインフラ整備
- 中食・外食向けサプライヤー等との業務提携・出資、合弁会社の設立

進捗状況

- ✓ 17年度の**直接販売は、計画を上回る3243億円(前年比106%)を達成**。18年度は3300億円達成に向け取り組み強化。
- ✓ **重点取引先約300社への営業強化、県域を越えたりレー出荷、JA全農青果センターによる販売強化、パートナー市場と連携した実需者を明確にした予約相対取引を強化。**
- ✓ **直接販売の拡大に向けて、17年度は①徳島青果センター②山口県央域青果物調整・加工施設——が稼働**。18年度は5か所で新設予定。
- ✓ 18年3月、**中食・外食向けサプライヤー等3社と業務提携契約を締結**し、産地開発・商品開発などを共同で実施。



17年度に新設した山口県央域青果物調整・加工施設

直接販売

3243億円



直販拡大へのインフラ整備(18年度整備)

秋田	県南園芸センター(椎茸選果ライン増設)
山形	おきたま園芸ステーション(設置決定)
福島	菌床しいたけIVC(設置)
愛媛	愛媛さといも広域選果場(設置決定)
福岡	県南VFS(設置)